

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

66

事実と価値

新型コロナウイルスの蔓延はなかなか収まらない。対応には政策担当者（価値を判断）と科学者（事実を判断）の緊密な協力が重要である。1972年に米国の物理学者ラインバークが提唱した「科学によって問うことができるが科学によって答えることのできない領域（トランスサイエンス）」という概念が有用だ。

例えば、洪水や火山



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター上席フェロー 藤山 知彦

1975年東京大学経済学部卒業、同年三菱商事入社。2008年同執行役員、国際戦略研究所所長、13年同常勤顧問。16年から現職。現在、清水建設顧問など兼務。

トランスサイエンス コロナ対応に有用

ある。科学者の知識は（政策）の領域と言え、必要だが科学者だけでは決められない。

4つのポイント

噴火予知の際の避難指示の決定や、防波堤建設の際の津波の高さの予測、地球環境の問題への対策などは事実と価値の交錯したトランスサイエンスの問題である。まず第1に政策担当者から

ウィルスの特性や3密回避の有効性の研究は、実際のロックダウンなどの対策は、

事実（科学）の領域だが、感染症と比べ、四つポイントが重要になる。第2に新型コロナウイルス感染や無症状者から

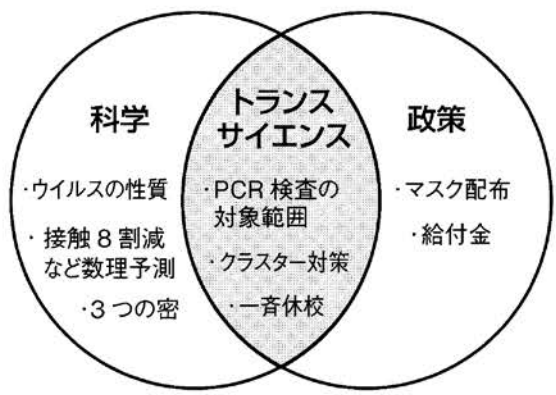
回遊の有効性の研究は、実際のロックダウンなどの対策は、

事実（科学）の領域だが、感染症と比べ、四つポイントが重要になる。第2に新型コロナウイルス感染や無症状者から

回遊の有効性の研究は、実際のロックダウンなどの対策は、

事実（科学）の領域だが、感染症と比べ、四つポイントが重要になる。第2に新型コロナウイルス感染や無症状者から

トランスサイエンスの位置付け



的事実になる前の「推定事実」が求められる可能性もある。だから、科学的因果関係だ。少数の科学者の意見も自由で公表できることが大切だ。

第3にトランスサイエンスの部分はクラス密に打ち合わせて政策が大切だ。この場合、科学者と政策担当者が綿密に打ち合わせて政策

第3にトランスサイエンスの部分はクラス密に打ち合わせて政策が大切だ。この場合、科学者と政策担当者が綿密に打ち合わせて政策

第3にトランスサイエンスの部分はクラス密に打ち合わせて政策が大切だ。この場合、科学者と政策担当者が綿密に打ち合わせて政策

第3にトランスサイエンスの部分はクラス密に打ち合わせて政策が大切だ。この場合、科学者と政策担当者が綿密に打ち合わせて政策

第3にトランスサイエンスの部分はクラス密に打ち合わせて政策が大切だ。この場合、科学者と政策担当者が綿密に打ち合わせて政策

（金曜日に掲載）